身体的拘束最小化に関する掲示事項

【身体的拘束を行わない基本方針】

当院では、患者様の尊厳と主体性を尊重し、原則として身体的拘束は行わない方針です。
患者様の生命及び身体が危険に曝される可能性が著しく、身体的拘束を行う以外に安全を
確保する代替方法がない場合を除いて、身体的拘束をしない診療・看護に努めています。

【身体的拘束最小化のための取り組み】

1. 身体的拘束を行う必要を生じさせないために、日常的に以下のことに取り組みます。
   ① 言葉や対応などで、患者等の精神的な自由を妨げない。
   ② 患者の思いをくみとり、患者の意向に沿った医療・ケアを提供し、多職種協働で患者に応じた丁寧な対応に努める。
   ③ 身体的拘束を誘発する原因の特定と除去に努める。
   ④ 薬物療法、非薬物療法による認知症ケアやせん妄予防により患者の危険行動を予防する。
2. 身体的拘束最小化チームを設置し、身体的拘束の実施状況を把握し、定期的な巡回を実施しています。その結果を踏まえ多職種で身体的拘束の解除や代替策の提案と代替用具の導入に向けた具体的な検討を行い、定期的に職員へ周知をし、院内の体制を整えています。
3. 身体的拘束に関わる用具については病棟外で一元管理しております。
4. 身体的拘束最小化のための具体的取り組みを検討する委員会を毎月開催しています。
5. 身体的拘束最小化に関する講習を年２回以上実施し、入院患者様に関わる全ての職員が受講しています。
6. 病院として身体的拘束を原則行わない方針であることや、身体的拘束を行うリスクと行わないリスク等について説明し、患者様及びご家族様の意向を十分に聴取させていただきます。

【身体拘束の実施状況　直近３か月】

病院全体

2026 年 10 月現在

月	実施割合	延べ入院患者数	身体的拘束実施日数	直近３か月実施割合
7 月	0.13%	3,756	5	0.86%
8 月	0.00%	3,786	0	0.32%
9 月	0.00%	3,560	0	0.05%

地域包括ケア病床・療養病棟

月	実施割合	延べ入院患者数	身体的拘束実施日数	直近３か月実施割合
7 月	1.00%	2,990	30	1.28%
8 月	0.00%	3,246	0	0.37%
9 月	0.00%	3,053	0	0.05%

群馬パース病院　病院長